

新田健介 議員



高校生の医療費の無償化を！

問 現在、本町では0歳児から中学3年生までの医療費全額助成を行っていたらいいと思いますが、これを高校生まで拡充する考えはありませんか？

慎重に検討

答 高校生の医療費無償化は、子育て世帯の方々への大きな支援になるであろうと思いますが、給付要件や将来の財政見通しなど、制度設計に関しては慎重に検討していきたい。

給食費の無償化に関して？

問 給食費の無償化に関しての目途は立っていますか？

財源確保に努力

答 財源が伴うことなので、確保に向け努力していきたいと考えています。

斎場にAED設置を！

問 本町にある2か所の斎場にはAEDが未設置です。早急に設置すべきでは？

早期に設置しよう

答 現在、桶斎場には緊急に設置が完了し、今後は大島斎場に關しても設置する予定です。

講習会の継続的な開催を！

問 救命率を高めるために、一人でも多くのAEDを使用できる人材を増やしていくことが重要です。ただ設置して終わりではなく、継続的な講習会の実施が必要では？

今後は対象者を拡充して実施

答 7月には講習会もあり、今後は対象者の拡充を予定しています。



高校生の医療費の無償化を！

山根耕治 議員



宮本常一関係資料の活用は？

問 このたび宮本常一記念館が所蔵する「宮本常一関係資料」が山口県有形文化財の指定を受けました。

これらの資料について、町外の文化施設への貸出など、今後の活用方法について伺います。

活用方法を研究

答 今回指定を受けた資料は破損の恐れもあり、貸出などは慎重に扱う必要があります。

しかし、宮本常一先生の業績を広く周知するためには、積極的に公開する必要もあるため、県文書館などから意見を聞き、研究していきたい。

宮本常一先生の情報発信には適正な対応をしていきます。

今期の柑橘の収量への対策は？

問 今年のみかんなど柑橘は花が極端に少なく、このままでは、出荷量が極端に減少する生産者も出てくる恐れがあります。

町の現状把握と対策について伺います。

国や県とも連携した支援

答 関係機関の調査からも、今期の柑橘の生産量はかなり減少することが予想されます。

昨年からの寒波などが原因と考えられ、今後の気象情報をみながら適切な技術指導で生産量を確保することが重要です。

この現象は西日本全域にわたっているため、国や県とも連携した支援を考えていきます。



「宮本常一関係資料」が保存されている記念館の収蔵庫